

仕 様 書

1. 件 名
英文論文誌 Bulletin of the Chemical Society of Japan (以降 BCSJ とする) の制作
2. 規 格
英文 A4判
本文、目次、グラフィカルアブストラクト他で年間 2,040 頁 (毎号の頁数変動あり) 表紙年間 48 頁
原著論文年間 204 編、1 編平均 6-7 頁程度、3 頁(Short Article)や 30 頁程度(Accounts) のものが数編入る場合がある
2. 数 量
1 回当たり 2,150 部、年間 12 回、合計 25,800 部
4. 原 稿
 1. 目次、書誌情報、本文、図表、広告等原則電子データで提供し、状況に応じて紙原稿で提供する場合もあるとする。
 2. 投稿規程および執筆要領はあるが、使用ソフトおよび入文字データ書式の指定はない。著者使用ソフトは、文字は MS-Word, 図表は ChemDraw および PowerPoint を用いたものが主であるが、その他、特殊なソフトの場合もある。
 3. 直近号と査読済原稿 1 編を見本として提供する。見積り後返却のこと。
 4. 最終の査読済原稿送付期限は、発行日の 60 日前とする。期限までに査読完了した原稿は順次(月 4 回程度)送付する。
 5. データ作成に当たっては組版等印刷体発行に必要な処理の前段階で必ず行うこと
 6. 書誌情報に DOI(註: CrossRef 基準の論文識別番号)等の追加入力をする。
 7. 引用文献情報に CrossRef を利用して確認を取った DOI 等の追加入力をする。
5. レイアウト
表紙: 毎号表紙に掲載する図を変更する (見本誌参照)
本文: 横 2 段組 9.5 ポ、行間 11.5 ポ、59 行 (見本誌参照)
6. 用 紙
本文用紙: コート紙 AY 35kg
表紙用紙: 上質紙 菊 Y 95.5kg
7. 印 刷
オフセット印刷 (ランダムに 4 色刷指定あり)
カラー頁数は年間 800 頁とする。
8. 製 本
無線綴並製本
9. 校 正
文字 2 回以内並びに色および図表・写真校正 (2 回以内)
組版データからプログラムの生成した引用文献チェック用の (DOI リンク埋め込み) HTML ファイル (著者校正時 1 回)
* 著者校正は校正用 PDF ファイルをインターネットで発送する。詳細は以下の通り。

1. HTTP サーバーに校正用 PDF ファイルと上記 HTML ファイルを置く
 2. 著者にメールにて URL とパスワード情報を連絡
 3. 著者が PDF ファイル、HTML ファイルをダウンロードし、校正を行う
 4. 校正結果は FAX で学会事務局宛てに返送される
 5. 学会事務局が校正結果をチェックし、印刷所に戻す
10. 完成期限 平成 21 年 4 月 15 日から毎月 15 日、平成 22 年 3 月 15 日まで毎月 15 日
BCSJ 第 81 巻第 4 号から第 82 巻第 3 号まで
11. 納品物 冊子 2,150 部（見込み）および電子ジャーナル用 PDF ファイルならびに下記
メタデータファイル
1. RSS ファイル（月 1 回）
 2. グラフィカルアブストラクト部分の html ファイル（月 1 回）
 3. J-STAGE 仕様の全文 LaTeX ファイル
 4. アーカイブおよび対外用 XML ファイル（NLM-DTD 準拠が望ましい）
12. 納入場所 社団法人日本化学会
13. 留意事項
1. 総額を記載した入札書および組版代、製版代、刷版代、印刷代、用紙代および製版代の内訳金額を明示した見積書を提出する。
 2. 落札は本仕様書に基づく見積総額および内訳毎金額ならびに電子ジャーナル作成費用の総額を考慮して決定する。
 3. 印刷会社の責任による損害および納品時の検査で判明した改善費用は印刷会社が負担する。
14. その他 別紙の注意事項を遵守し、必要な費用は見積額に反映させる。

別紙

(1)入稿原稿の取り扱いについての注意点

- ①入力文字データで、日本語フォントを主とする全角文字入力や英語以外の記号、数式および特殊文字などがあるので、適切に変換する。費用は「組版代」に計上する。
- ②目次作成や論文タイトルなどで書誌情報を入力する必要がある場合がある。費用は「組版代」に計上する。
- ③引用文献の記載は事前に CrossRef に照会・確認しリンクできるように修正し、できた PDF ファイルに DOI 情報が埋め込まれている事とする。費用は「組版代」に計上する。
- ④図版はイメージスキャナー入力等により作成し、データはデジタル化すること。費用は「組版代」に計上する。
- ⑤入稿原稿はカラー原稿でも、最終印刷は白黒の場合があり、色調整作業を含む場合がある。カラー原稿は、色調整作業を含む場合がある。いずれも費用は「組版代」に計上する。
- ⑥白黒原稿でも写真などは、印刷時の鮮明度を確保する調整作業を含む。費用は「組版代」に計上する。
- ⑦すべての図表はファイル変換もしくはスキャニングする。費用は「製版代」に計上する。見積時の図表数は本文 1 頁あたり 2 枚とする。

(2)表紙

- ①毎号、オリジナルな図の原稿を使用して作製する。費用は「製版・刷版代」に計上する。

(3)電子ジャーナル作成

- ①電子ジャーナルは本会のデータベースおよび J-STAGE（注：科学技術振興機構の学術誌電子ジャーナルポータルサイト）に登載するので、必要な書式を満足すること。
- ②電子ジャーナルは月に 1 度、校了になり次第、オンラインで公開する。
- ③週に一度公開した記事や論文についての RSS を作製する。
- ④書誌事項は、電子ジャーナルでの検索ができるように、項目毎に必要なタグ付けをする。
- ⑤書誌事項は HTML 形式とする。
- ⑥書誌事項には論文アブストラクトと引用文献を含む。
- ⑦ホームページ掲載用のグラフィカルアブストラクトの HTML を作製する。
- ⑧本文用ファイルはテキスト埋込みの PDF 形式とし、図および写真の解像度は 600dpi(白黒)以上とする。冊子体印刷後の紙面のデジタル化（スキャン）は不可とする。
- ⑨電子ジャーナル用データは一元的に管理されたメタデータからプログラマ的に生成すること。（電子ジャーナル用のデータとして別途入力作成は行わない。）

(4)別刷作成

- ①見積りの条件は論文頁数 6 頁、別刷部数 50 部は白黒 90 編、カラー 10 編、別刷部数 100 部は白黒 50 編、カラー 50 編とする。表紙にはその論文の書誌を印刷する。（サンプル参照のこと）
- ②別刷作成は冊子体と同じ品質であれば本印刷時に作成しても別の印刷機で作成しても良い。